

活動名		ストーンアート				
概要	○石を観察し、作品のイメージをわかせて、その石に絵の具で色をぬって、思い思いの作品をつくる。					
ねらい	○身近にある物で作品を作る喜びに気づく。 ○石の特徴から作品のイメージをわかせることで、創造力を養う。 ○アクリル絵の具の取り扱いを学ぶ。					
関連教科等	図画工作・理科・社会・総合					
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う					
時期	通年	時間帯	日中	対象	幼(大)～	
場所	創作棟	人数	～120人	所要時間	1.5～2時間	
準備物	施設で準備できるもの		団体・個人で準備するもの			
	石、アクリル絵の具、筆、はしペン、ティッシュ、水入れ、紙皿、ドライヤー、新聞紙、雑巾		汚れてもいい服(必要に応じて)			
進め方・展開例						
内容			留意点			
活動前	○打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、材料の数、活動の進め方			○職員からの指導が活動の説明のみの場合は、活動の進め方や安全面、片づけ等について十分確認する。		
活動の説明	○作成手順を理解する。 ○色のぬっていない石を見る。 ○例となる作品を見てイメージをつくる。			○色のぬっていない石が、どんなものに見えるかを創造させるとよい。		
展開	○手順に沿って、作品をつくる。 ①石をよく観察して、選ぶ。 ②使う道具を準備する。(新聞紙、絵の具、筆、水入れ、紙皿、ドライヤー等) ③絵の具を必要な量だけ出す。 ④石に色をぬっては乾かし、ぬっては乾かしを繰り返して、作品をつくる。			○絵の具の出し過ぎに注意する。 ○アクリル絵の具は乾くと色が落ちないので、衣服につかないよう注意する。 ○全体的な色→細かい部分の色の順でぬる。 ○色を重ねぬりする場合は必ず一度乾かしてからぬる。(ドライヤーを使用するとよい)		
まとめ	○片づけをする。 ○お互いの作品を発表し合い、よさを認め合う。					
評価	○石に描くという喜びを味わうことができるか。 ○石の特徴を生かした作品ができるか。					
発展	○実際に河川敷等に、石を取りにいったからの創作活動とすれば、身近な自然物への興味の高まりや喜びも増え、より効果的な活動となる。					